

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	ハピネス
住 所	福井市中央2丁目9-1 中広第二ビル3F
電話番号	0776-50-2805

事業所番号	1810101731
管理者名	山下文恵
対象年度	R6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容>

活動場所：ハピネス

実施日程：令和6年12月20日

概要：大切なからだ・心地よいふれあい

人数： 13名 参加



<目的>

だれにとっても、からだは大切だということを理解する。

からだの権利（自分のからだのことは自分で決める）について理解する。

相手の同意を得て、楽しくふれあうことができる。

性被害に遭わないために、どうしたら良いか考える。



<成果>

- ・からだのどの部分も大切。どこなら、だれなら、さわっていいか、ダメか自分で決めていい。自分のからは自分で決めることを知った。
- ・気持ちを聞かずに触ってくる人がいたら、逃げる・相談する方法がある。
- ・自分のからだところを知ることは幸せに生きることだが、自分の行動が罪になることもあると忘れないことが必要。



連携先の企業や事業所等の意見または評価

大切なからだの第一歩を今回実施したが、からだの働きや部位の名称をまだ理解できていない利用者の方がおられた。

この部分をもう少し丁寧にしていかなければならないと感じた。

今後は、「おつき合いについて」に進む前に、「男女のからだ」「命の誕生」等を学びが必要だと思っている。

連携先企業（担当者） 福井市ゆいの会 東氏

利用者からの意見・評価

- ・見せたくないところは、みんな同じではないし、黙って人の体に触れると罪になると学んだ。
- ・からは大事。人に嫌なことはしないようにしていかなければならないと思った。
- ・それぞれの体の器官の大切さを知って、自分の体も他人の体もみんな大切ということもわかった。
- ・同意を求めず触ったり、自分のものを見せたりするのは罪になり、あんまり人を見つめるのも通報されることもあるので気をつけたい。
- ・自分が知らない人に触られそうになったら大きな声で「イヤ！」と言って自分の身を守っていきたいです。